

# Investors Guide 2003

〈投資家の皆様へ〉



東京エレクトロン デバイス

# 社長メッセージ

## 独立系商社として業界をリード

東京エレクトロン デバイス (TED) は、世界トップクラスの半導体製造装置メーカーである東京エレクトロン株式会社の、電子部品部門が分離・独立して設立されました。従ってビジネスそのものは1965年より行われており、現在まで40年近い実績を積んでいます。また、創業当時から変わらぬベンチャースピリッツをベースに、マーケティング力、技術力、商品開発力など技術商社としての実力に一層の磨きをかけ、強い競争力を維持しています。



取締役社長 砂川 俊昭

〈1963年に東京エレクトロン(株)の前身である(株)東京エレクトロン研究所を設立。〉

〈1965年に電子部品の販売を開始。〉

1990年 9月 東京エレクトロン デバイス(株)へ社名を変更。

1996年10月 東京エレクトロン(株)から電子部品部門の富士通(株)製品の営業を譲受け、販売を開始。

1997年10月 東京エレクトロン(株)から電子部品部門のモトローラ社製品の営業を譲受け、販売を開始。

1998年 7月 東京エレクトロン(株)から電子部品部門に関する営業を全て譲受け、販売を開始。

2003年 3月 東京証券取引所市場第二部に上場。

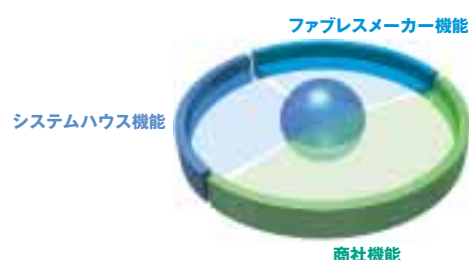
## 〈目次〉

社長メッセージ	1
会社の位置づけ	3
商社ビジネス(1)	5
商社ビジネス(2)	7
開発ビジネス	9
マーケット情報	11
業績レビュー	12
財務諸表	13
財務データ	15
投資家情報	18

将来の業績見通し等に関する注意事項  
このインベスターズガイドは、2003年7月1日時点で作成されています。ビジネス戦略、業績予想等の将来の見通しに関する事項は、その時点で入手可能な情報から東京エレクトロン デバイスの経営者の判断に基づいて書かれており、経営環境の変化により修正することがあります。したがって、当社は、内容の正確性、信頼性等、一切保証しませんので御了承下さい。最新情報については、公表資料または当社Webサイトを御参照下さい。

## 高付加価値で幅広いソリューション

当社のコアビジネスは、商社機能として、国内外の電子部品メーカーから仕入れた半導体製品、ボード製品、ソフトウェア、一般電子部品を、電子機器メーカーへタイムリーに提供することです。また、開発機能として、お客様の委託により設計・開発を支援するシステムハウス機能、ニーズに直結した製品を設計・開発するファブレスメーカー機能を有します。当社は、これらのビジネスを通じ、お客様と仕入先からNo.1の技術商社と認められ、付加価値の高いソリューションを提供する企業になることを目指しています。



## 東京エレクトロン デバイス (TED) が目指す技術商社

当社が目指す技術商社とは、急速な技術変化が求められるエレクトロニクス業界において、高い技術力をベースに、柔軟で多様な対応を可能とする商社です。そのサービス機能は、商品企画に対する営業提案、ニーズに応える幅広い商品の提供、技術説明や問題を解決する技術サポート、お客様ニーズ調査や商品評価などの企画サポート、お客様の仕様に基づくLSI・ボード・IPなどの設計受託業務、市場ニーズを反映したユニークな自社製品開発等、最適で幅広いソリューションを提供することです。これにより、お客様が新商品の企画を行う初期の段階から、設計・開発、そして製造に至る全ての段階に対応します。

## 経営の公正・透明性による株主価値の向上

当社では、経営の透明性を一層高め、公正な経営を実現することを最優先に考えており、今後も積極的かつ迅速な情報開示に努めます。また、株主重視を経営の最重要事項のひとつと位置付け、業績連動型・収益対応型の配当政策を実施し、株主の皆様へ、長期にわたり安定的な利益還元をしていきます。一方、ビジネスを拡大させるための開発ビジネスの強化と、IT(情報技術)への投資も積極的に行い、継続的な成長を実現したいと考えています。

### ごあいさつ

2003年3月7日、東京エレクトロン デバイスは、東京証券取引所市場第二部へ上場しました。これもひとえに皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後も役員はじめ社員一同、一層の企業発展に努め、皆様のご期待に応えていくつもりです。これからも当社への変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

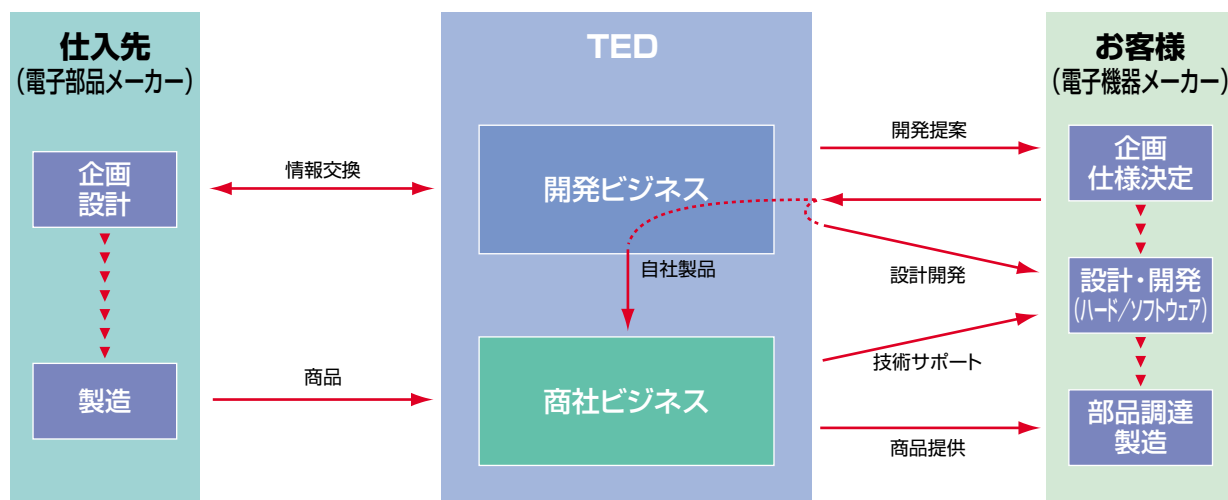


上場通知書贈呈式

# 会社の位置づけ

TEDは商社ビジネスと開発ビジネスからなる新形態の技術商社です。  
グローバルネットワークを活かし、半導体製品・ボード製品・ソフトウェア・  
一般電子部品の幅広いソリューションを、タイムリーに提供しています。

## ■ビジネス概念図



### ■商社ビジネス

世界中の電子部品メーカーに幅広くマーケティングを行い、半導体製品・ボード製品・ソフトウェア・一般電子部品を仕入れ、お客様である電子機器メーカーへ最適な商品をタイムリーに提供します。

また、お客様の技術的問題の解決、新商品の導入サポート、世界の新品や技術調査レポートの提供等は、技術商社ならではの技術サポート力を有するエンジニアが、幅広いソリューションで対応しています。

物流体制については、先進のコンピュータ・ネットワーク・システムを導入し、迅速で効率的なロジスティクスを構築しています。

### ■開発ビジネス

お客様である電子機器メーカーが、商品開発を行う初期の企画や設計・開発の段階から参加して、適切な開発提案や、お客様のエンジニアに代わって設計・開発を行う業務を受託します。

さらに、商社として、永年に渡って蓄積された高度な技術力と豊富な経験を活かし、お客様のニーズに的確に応える自社製品の企画・開発も行います。

また、お客様に最適な商品を提供するため、仕入先である電子部品メーカーと、商品のニーズやリサーチ等の情報を常に交換し、市場ニーズにマッチした商品が、タイムリーに提供できるようにします。

## ビジネス戦略

### 1. 開発ビジネスの拡大

商社でありながら開発ビジネスへ注力する目的は、ビジネス領域の更なる拡大と高付加価値化による利益率の向上にあります。お客様における商品開発の企画・設計段階から参加することにより、単に設計受託業務を拡大するだけでなく、適切な開発提案を行うことによって、取扱商品の採用枠の拡大や自社製品の開発等、新たなビジネス機会の創造を期待しています。



### 2. 新商品の開拓

商社ビジネスの拡大には、新商品の開拓が最も重要なテーマとなります。多様な市場ニーズに応えるため、世界中をターゲットにしたマーケティングを強化する一方、技術商社としての強みを最大限に活用して、高度な技術力を必要とする付加価値の高い商品の開拓や、最先端情報を活かした自社製品の開発を促進しています。特に最近では、高成長が期待されるデジタルコンシューマ分野の商品開拓を、重点的に推進しています。

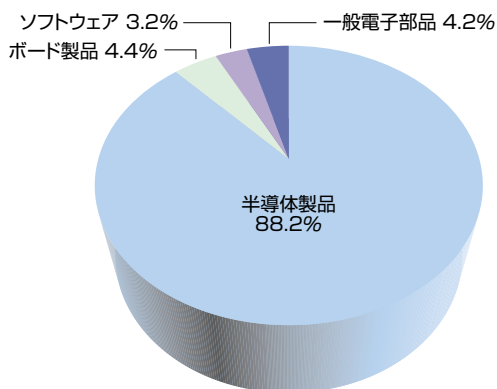
### 3. 技術サポートの充実

お客様との信頼関係を向上するためには、高度な技術サポートが不可欠です。新商品の技術的な説明や技術問い合わせに応えるプリセールス段階から、トラブル時の問題解決、品質情報の提供などのポストセールス段階まで、きめ細かくかつタイムリーに対応します。また、インターネットを活用したサポート体制を確立するなど、IT環境を充実させ、お客様満足度の向上を図っています。

## 品目別構成

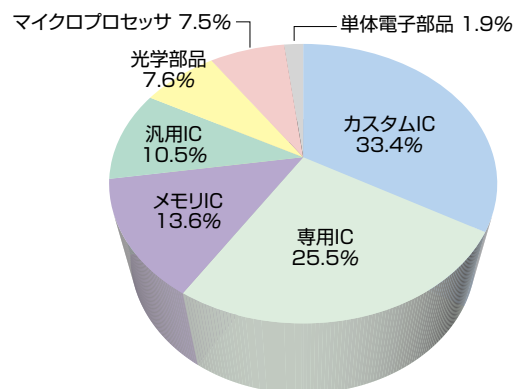
当社の商品構成は、半導体製品が大半を占めています。さらに、お客様の多様なニーズに応えるため、半導体製品に関連するボード製品・ソフトウェア・一般電子部品も取り揃え、トータルシステムとしての提供を行っています。このため、取扱い商品は幅広く、半導体製品の中では、カスタムICや専用ICなど付加価値の高い商品の比率が高くなっています。

■品目別売上構成 (2003年3月期)



**【半導体製品】**  
シリコンなど半導体を材料に製造された製品、主にICを指す。  
**【ボード製品】**  
多数のICや電子部品をプリント基板上に実装した製品。  
**【ソフトウェア】**  
コンピュータが理解できる方法で表現された処理手順。  
**【一般電子部品】**  
電源やコネクタ、ケーブルなど半導体製品以外の電子部品。

■半導体製品内訳 (2003年3月期)

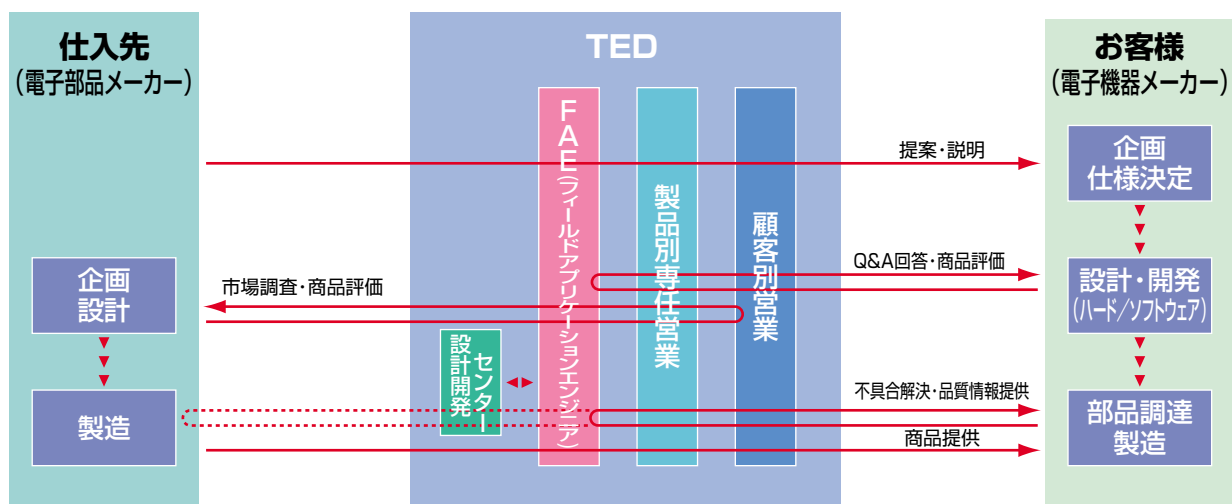


**【カスタムIC】**  
お客様の仕様に合わせて作られるIC。ASICやPLDが代表的。  
**【専用IC】**  
通信用、画像処理用など、特定用途に作られる専用のIC。  
**【メモリIC】**  
記憶用のICで、DRAM、SRAM、フラッシュメモリが代表的。  
**【汎用IC】**  
色々な用途に共通的に使用されるIC。アナログICやロジックIC等。

# 商社ビジネス(1)

TEDの仕入先は約45社、海外の有力半導体メーカーを中心に構成されています。  
 的確な技術サポートと安定した販売実績により、  
 幅広いお客様に質の高いソリューションを提供しています。

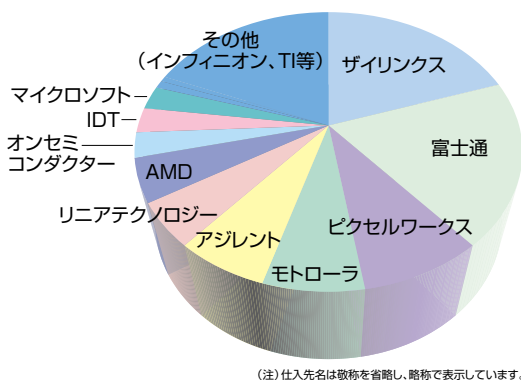
## ■商社ビジネス概念図



## 仕入先の概要

当社は日本における半導体商社の草分け的存在として、多くの電子部品メーカーと長年の取引実績があり、信頼関係が確立されています。仕入先は現在約45社で、国内での販売実績シェアのほとんどが1位および2位となっています。特に仕入先別売上構成で、第1位のザイリンクス社と第3位のピクセルワークス社の製品は付加価値も高く、近年めざましい伸びを示しています。また、仕入先に対しては、お客様のニーズ調査や技術力を生かした商品評価の情報を提供し、新商品の開発や機能アップに協力しています。

## ■仕入先別売上構成 (2003年3月期)

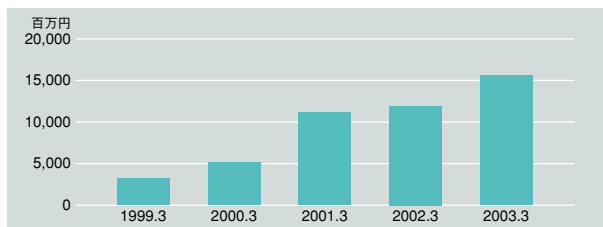


- [アジレント社]**  
1999年にHP社から分離した企業で、光エレクトロニクスや無線通信分野で高い実績。
- [リニアテクノロジー社]**  
幅広い分野で利用されるアナログIC製品で、世界をリードする専門企業。
- [オンセミコンダクター]**  
1999年にモトローラ社から分離、アナログ・ロジック・ディスクリット半導体のトップブランド。
- [IDT社]**  
CMOSプロセスを活用した幅広い製品を提供、特に通信ネットワーク製品の評価が高い。

## ■有力仕入先の紹介

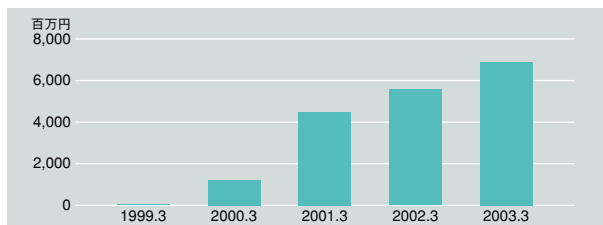
### 【ザイリンクス社】

急成長中のプログラマブルロジックソリューションで世界のトップ企業。



### 【ピクセルワークス社】

プロジェクトやLCDテレビの画像処理用製品で、世界シェア80%以上の企業。



カテゴリー	主な商品	主な用途	主な仕入先名(アルファベット順)
半導体製品	 <p><b>カスタムIC</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ASIC</li> <li>●PLD (FPGA, CPLD)</li> </ul>	デジタル家電、交換機 携帯電話・PHS、計測器 OA機器	富士通 ザイリンクス
	 <p><b>専用IC</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●通信・ネットワーク用</li> <li>●画像処理用</li> <li>●インタフェース用</li> <li>●セキュリティ用</li> <li>●周辺制御用</li> </ul>	デジタル家電、モデム ルータ、LAN機器 交換機、通信端末 プリンター、プロジェクタ デジタルカメラ、DVD カーナビ	AMD、カビウム、コネクサント 富士フィルムマイクロデバイス 富士通、富士通メディアデバイス 富士通量子デバイス、IDT インフィニオン、インターシル、レジリティ モトローラ、ピクセルワークス、セーフネット 新光電気工業、サイバーコア シリコンウェーブ、TI、TED、タンドラ パレンス、ザイコー、ザーリンク、ゼッタコム
	 <p><b>メモリIC</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●フラッシュ ●DRAM/SRAM</li> <li>●FRAM ●E<sup>2</sup>PROM</li> </ul>	携帯電話、通信機器 PC周辺機器 カーオーディオ	AMD、富士通、IDT ラムトロン、ザイコー
	 <p><b>汎用IC</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アナログ</li> <li>●ロジック</li> </ul>	携帯電話、FA機器 PC周辺機器、LAN機器	インフィニオン、インターシル リニアテクノロジー オンセミコンダクター、TI
	 <p><b>光学部品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●LED ●フォトカプラ</li> <li>●光ファイバ ●レーザ ●IrDA</li> </ul>	交換機、携帯端末 FA機器、パソコン	アジレント 富士通量子デバイス インフィニオン
	 <p><b>マイクロプロセッサ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●マイクロプロセッサ</li> <li>●マイクロコントローラ ●DSP</li> </ul>	パソコン、携帯端末、POS	AMD、富士通 インフィニオン モトローラ、TI
	 <p><b>単体電子部品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ダイオード</li> <li>●トランジスタ</li> </ul>	携帯電話、パソコン プリンター	インフィニオン オンセミコンダクター
	 <p><b>ボード製品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●マザーボード</li> <li>●VMEボード</li> <li>●インタフェース</li> <li>●コンピュータテレフォニー</li> <li>●I/Oボード</li> </ul>	交換機CTI、サーバ FA機器、医療機器、計測器 半導体製造装置	インテル(ダイアロジック) モトローラ、ポートウェル ウッドヘッド
 <p><b>ソフトウェア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●OS</li> <li>●BIOS</li> <li>●開発ツール</li> <li>●通信プロトコル</li> </ul>	POS、周辺装置、FA機器 カーナビ、コピー機	イント、メトロワークス マイクロソフト、フェニックス TED、ベンチャーコム ウェストテック	
 <p><b>一般電子部品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パネルPC ●LCD</li> <li>●電源 ●コネクタ</li> <li>●ICソケット</li> <li>●静電気・EMC対策製品</li> </ul>	ビデオカメラ、FA機器 医療機器、産業機器	コーセル、デジタル 富士通ディスプレイテクノロジーズ コービン、スリーエム ウィンチェスター	

(注) 仕入先名は敬称を省略し、略称で表示しています。

**[ASIC]**  
特定の用途のために設計・製造されるIC。ゲートアレイやスタンダードセルが代表的。

**[PLD]**  
FPGAやCPLDなどプログラム可能な論理素子で、安価で短期間に開発できるのが特徴。

**[LED]**  
電流を流すと発光するダイオード。ランプや表示器に使用する。

**[フォトカプラ]**  
電気的な信号を光に変換して伝達する素子、電氣的に絶縁できる利点がある。

**[IrDA]**  
赤外線通信の規格団体、その団体が制定した規格はノートPCや携帯型情報機器で採用されている。

**[ダイオード]**  
電流を一方向のみに流す整流作用を持つ電子部品。

**[BIOS]**  
キーボードやディスプレイなど基本的なデバイスをコントロールするプログラム。

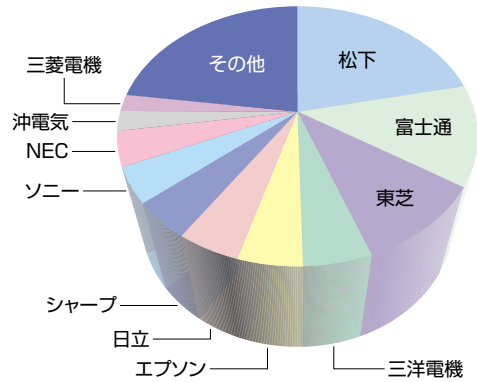
**[LCD]**  
液晶ディスプレイのこと。

# 商社ビジネス (2)

## お客様の概要

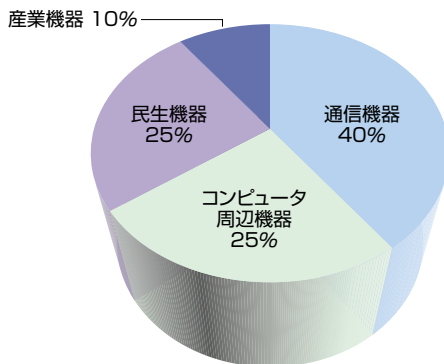
当社のお客様は、電子機器メーカーを中心に1,000社以上で構成されています。売上高の上位は国内大手電子機器メーカーに幅広く占められており、お客様が偏るメーカー系商社との差別化ポイントとなっています。また商品用途別でも各分野の有力企業に幅広く採用されており、売上高の安定性に優れています。

## ■お客様別売上構成 (2003年3月期)



(注) お客様名は敬称を省略し、グループの略称で表示しています。

## ■用途別売上構成 (2003年3月期)



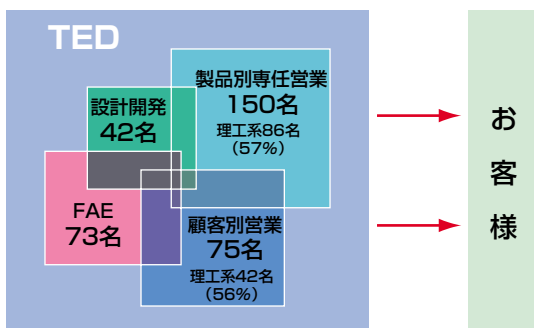
用途	主なアプリケーション
通信機器	ターミナルアダプタ、ケーブルモデム 携帯端末、交換機
コンピュータ周辺機器	プリンター、プロジェクタ、POS、パソコン ワークステーション、汎用コンピュータ
民生機器	デジタルカメラ、ビデオカメラ LCDテレビ、プラズマテレビ、DVD、カーナビ
産業機器	計測器、セキュリティ関連機器 医療機器、半導体製造装置

## 営業体制と技術サポート

### ■最適でタイムリーな提案を行う営業体制

お客様にとって最適な提案を行うため、全国11拠点にネットワークされている顧客別営業と製品別の専任営業、技術サポートを行うFAE(フィールド・アプリケーション・エンジニア)、設計開発センターが有機的に結合した体制になっています。さらに営業担当も理工系出身者が多いため、エンジニアの方々のニーズに直接対応しています。また、営業現場の第一線に権限を委譲することで、クイックレスポンスを実現。さらに、モバイルなどのITを活用した営業ツールも導入して、業務の効率化・迅速化を推進しています。

### ■営業・技術人員構成 (2003年7月1日現在)



### ■ロジスティックス

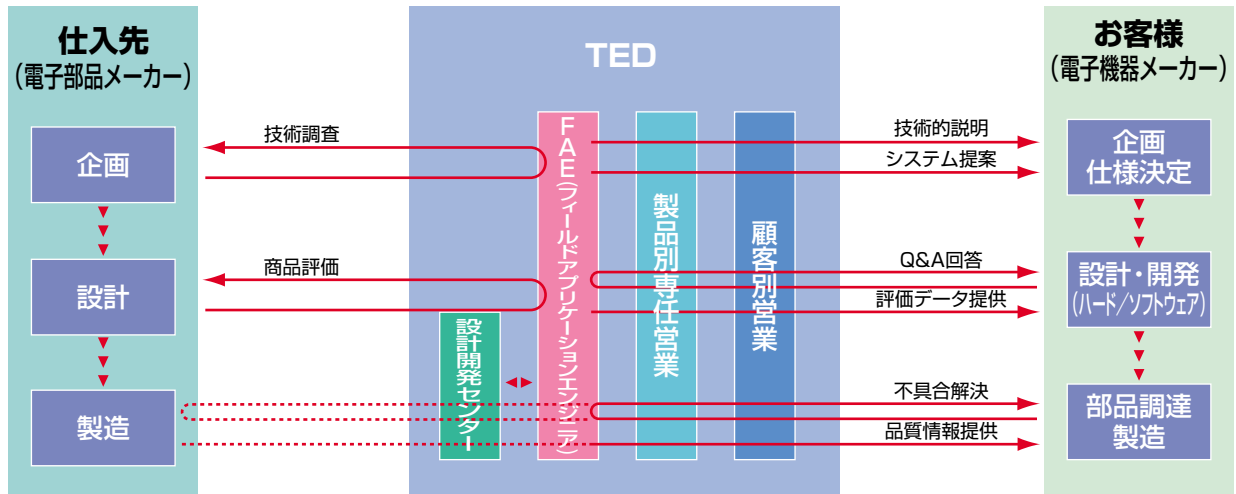


納期短縮や効率化を推進する物流センター



## ■的確で満足度の高い技術サポート

### ■技術サポート概念図



お客様が商品の企画を行う段階のプリセールスから、製造を行うポストセールの各段階で、営業3人に1人程度の比率を占める多数のFAEが、強力できめ細かい技術サポートを行います。FAEは仕入先ごとに配置され、新製品の技術説明やその提案、技術問い合わせへの対応、不具合問題の解決、品質情報の提供などアプリケーションにマッチした対応を行い、お客様の信頼と当社の付加価値を高めています。また、仕入先との間でも、商品の評価や技術的な調査に協力しています。さらに、インターネットによる情報サービスの提供や、設計開発センターでの具体的な開発経験を、技術サポートに活かせるのも技術商社ならではの強みです。



### ■お客様向け技術セミナー

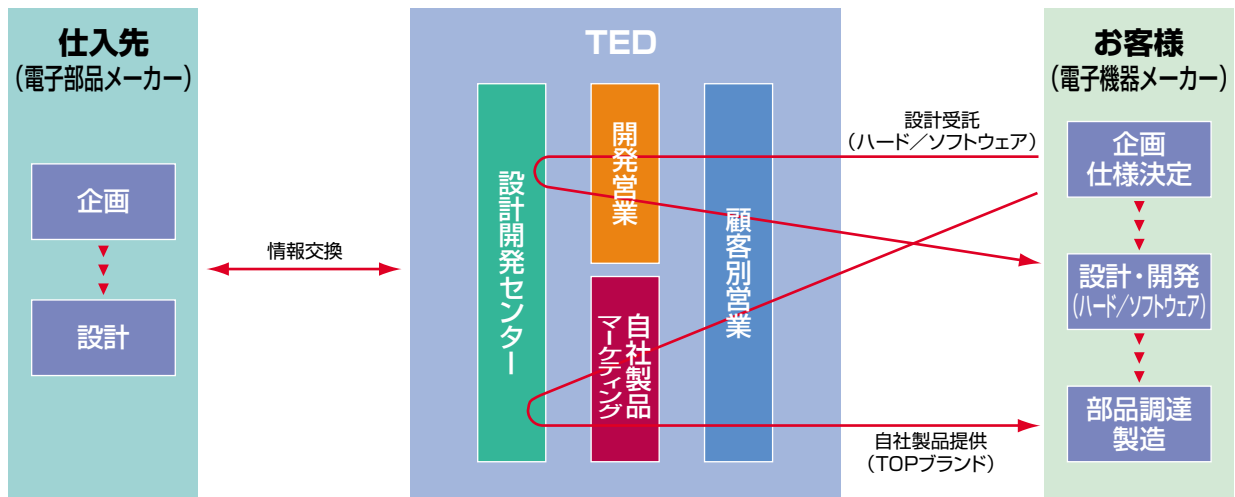
お客様に対する取扱商品の理解促進や技術の向上を目的に、単独あるいは仕入先と共同で、セミナーやトレーニングを定期的に開催しています。この場合の講師役も、FAEの大事な業務のひとつとなっています。



# 開発ビジネス

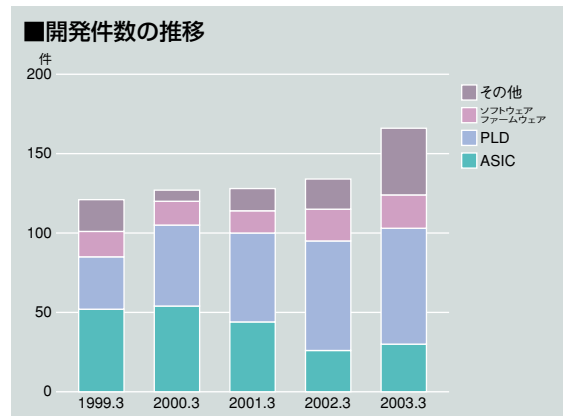
1985年設立の設計開発センターは、国内最大級の規模を誇ります。  
 高い技術力と豊富な経験を活かして、お客様の設計受託と  
 技術商社の情報ネットワークを活かした自社製品の企画・開発を行っています。

## 開発ビジネス概念図



## 設計開発センター (Design and Development Center)

設計・開発の中心となるのは、1985年に設立された日本最大級の規模を誇る設計開発センターです。42名の社員とほぼ同数の協力会社社員からなるエンジニア集団は、豊富な設計・開発の経験と、常に最新の技術動向を先取りした設備の導入により、お客様のご要求に基づく設計受託業務と自社製品の開発を、スピーディかつ効率的に実現し、製品開発を短期間で安価に行うことを支援します。設計開発センターでは、これまでにデジタルAV機器や通信機器、コンピュータ周辺機器、OA機器など、幅広い用途に対応した大規模(100万ゲート以上)・高品質なLSI製品の設計・開発を多数行い、お客様から高い評価を得ています。



## 設計受託業務

最近、設計受託業務（デザインサービス）が注目されています。お客様の設計工数を削減すると同時に経験豊富な専門家に任せ事で、設計リスクの軽減や最新技術の活用、設備投資や維持費の低減などが容易に行なえ、しかも開発期間の短縮による商品の早期投入と高性能化が可能になるからです。

設計受託業務には、ASICやPLD、ボードの設計・開発、ソフトウェアやファームウェア、IP（設計ノウハウおよびデータ）の開発などがあり、お客様のご要望に応じた各種開発形態で、迅速に対応いたします。また、自社開発のIPや評価ボードも、多数ラインアップしています。



ASICの論理設計やシミュレーションの画面例



PCIカード型DVI評価ボード

## 自社製品の開発

電子部品商社として長年培ってきた販売・マーケティング力、有効な技術を有する企業とのアライアンス経験、他に類を見ない最先端の技術を活用して、お客様のニーズにベストフィットした製品の企画・開発を行います。自社製品はTOP製品（**T**okyo **E**lectron **D**evice **O**riginal **P**roduct）と呼ばれ、通信インタフェース技術やメモリの制御技術、画像処理技術をベースにした製品や、取扱商品に付加価値をつける製品など、ソフトウェアからハードウェア、システムに至るトータルソリューションを提供しています。

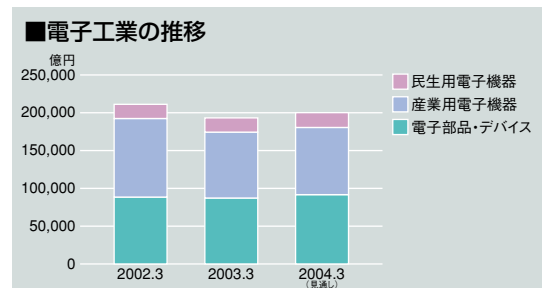


### ■主なTED自社製品一覧表

品名	型名	機能概要
NANDフラッシュメモリコントローラ	TE555x	NAND型フラッシュメモリやSmartMediaのコントローラ
SDメモリカードコントローラ	TE41xx TE43xx	SDメモリカード/MultiMediaCard/SDIOカードコントローラの機能を持つ製品。 (別に評価用ボードも用意されています。)
同期分離LSI	TE8200	LCDプロジェクタ等に適したプログラマブル高精度同期分離LSI
通信&I/Oインタフェースコントローラ	TE6138	プリンター等のホストインタフェースに対応するIEEE1284規格のコントローラ
	TE775x	CPU周辺の並列入出力ポートを集積したIC
FPGAコンフィギュレーションソリューション	TE7720	フラッシュメモリを使用して、安価・大容量のFPGAコンフィギュレーションソリューションを構成するLSI
汎用拡張I/Oコントローラ	TE7780	プロジェクタ等のアプリケーション用で、 $\mu$ Cマスタ・UART・PWM・汎用I/O、ADC・赤外線入力処理の1チップLSI
	TE7720	TE7780の機能とUSBインタフェースと高速データ転送用FIFOを1チップで提供するLSI

## 回復の兆しも見える日本の電子工業

2002年度の日本の電子工業は、前年比8.5%減の19兆3,221億円でした。海外生産の一層の進展や世界的なIT不況の中、民間設備投資や個人消費の低迷を受け、パソコンや携帯電話の不振による半導体集積回路の需要の伸び悩みが主な要因でした。2003年度は、民生用電子機器の伸びと産業用電子機器の回復により、電子部品・デバイスの需要が見込まれることから、前年比3.6%増の20兆139億円の見通しです。

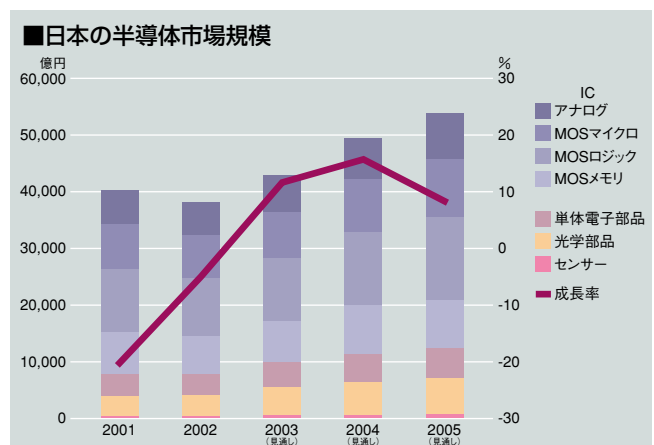


出所：電子情報技術産業協会

## デジタルコンシューマが牽引する半導体市場

WSTS (世界半導体市場統計) によると、2003年の世界半導体市場は、前年比11.5%増の1,569億ドルになると予測しています。2001年をボトムに今後も回復軌道に向かうと見込まれており、2005年には2,004億ドルになると予測しています。

一方、日本市場は、2002年の市場規模は前年比5.3%減でしたが、2003年は前年比12.4%増の4.3兆円を見込まれています。その後も市場は堅調に推移し、2005年には5.4兆円になると予測されています。日本市場を牽引しているのは、デジタルカメラ、DVD機器、カメラ付き携帯電話などの日本が得意とする先端技術を必要とするデジタルコンシューマ製品です。



出所：WSTS (World Semiconductor Trade Statistics) 日本協議会

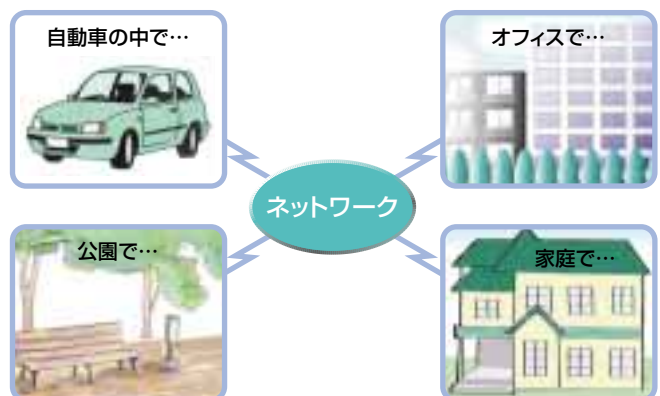
## カメラ付の需要が伸びる携帯電話市場

日本市場における、2002年度の携帯・自動車電話の出荷実績は、前半までは不調でしたが、後半に入り増加した結果、前年比横這いの約4千3百万台となりました。携帯電話の中でカメラ付および第三代携帯電話の、販売台数が急速に伸びました。2003年度は、前半にカメラ付が潜在ユーザー層に一通り普及することから、年内は第三代携帯電話の早期導入層や新技術に敏感な高感度層に限定された動きにとどまるものと予想します。今後、ユビキタス情報社会がより身近になると、携帯電話等の普及拡大や高機能化がさらに期待されています。

### 【ユビキタス情報社会】

パソコンや携帯端末に限らず、冷蔵庫や電子レンジ、テレビといった家電製品、家具や衣類、自動車や自動販売機等すべての物にコンピュータが入り、それらがネットワークに接続されることにより、いつでもどこでも必要な情報にアクセスできる便利な社会。

### ユビキタス情報社会のイメージ



## 2003年3月期業績報告

エレクトロニクス業界においては、DVDプレーヤー、デジタルカメラ、LCDテレビなどが市場を拡大していることなど、一部に明るさも見られましたが、携帯電話については、高機能機種への買換需要はあったものの、新規需要が概ね一巡していること、また、パソコンについても景気回復の遅れにより、依然として個人、法人とも需要低迷が続いていることなど、半導体電子部品市況は本格的な回復には至らない厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社はカスタムICの設計受託業務を推進し、開発段階から顧客にアプローチすることで、既存商品の採用拡大に努めました。また、技術サポートを要する高付加価値商品を積極的に販売するなど、業績の向上に努力しました。

この結果、当期の売上高は前期比5.6%増の788億1千1百万円、経常利益は前期比2.0%増の25億7千4百万円、当期純利益は前期比1.6%減の14億2千3百万円となりました。

### 【半導体製品】

民生機器のデジタル化に適合して用途を拡大しているPLD（プログラマブルロジックデバイス）を主力とするカスタムICなど、技術サポートを要する高付加価値商品の拡販に努め、また、画像処理専用IC、携帯用機器向け電源ICなどの販売が堅調に推移した結果、当期の売上高は、前期比6.2%増の695億5千2百万円となりました。

### 【ボード製品】

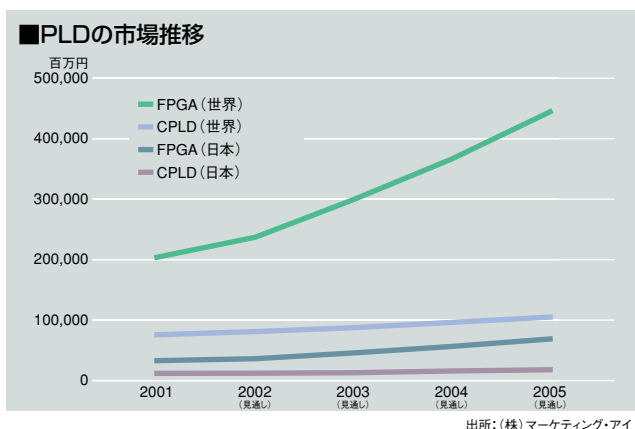
景気の先行き不透明感から企業が設備投資を抑制する環境下で、PCマザーボード、VMEボードなどFA関連装置向け販売が伸び悩み、当期の売上高は、前期比2.5%減の34億3千2百万円となりました。

### 【ソフトウェア】

組み込みシステム機器向けなどに幅広い技術サポートを提供しながら、各種OSの拡販に努めた結果、当期の売上高は、前期比3.4%増の25億4千8百万円となりました。

### 【一般電子部品】

パネルPC、スイッチング電源などの拡販に努め、また、民生機器向け超小型ディスプレイの需要が堅調に推移した結果、当期の売上高は、前期比4.9%増の32億7千7百万円となりました。



## 2004年3月期業績見通し

(2003年4月28日現在)

景気の先行き不透明感からIT（情報技術）需要が依然として低迷を続けるなか、大手半導体メーカーを中心に事業再編や提携の動きが加速するなど、企業間の競争は一層激化し、エレクトロニクス業界の構造は急激に変化しています。

2003年度は、これまで市場を牽引してきたパソコン需要の急回復は期待できないものの、DVDやデジタルカメラなどデジタルコンシューマ向け製品は堅調に推移すると考えています。また、これまで低調であった携帯電話需要は、高機能機種への買換え需要に支えられ、回復傾向を示しています。

このような経営環境のもと、当社は民生機器のデジタル化により市場が拡大しているデジタルコンシューマ市場に注力し、新規仕入先の開拓、商品ラインアップの充実を図ります。また、半導体商社の集約、選別の動きも加速する中、設計開発センターを強化し、設計受託業務および自社製品の開発を推進します。同時にITを駆使した業務改革に努め、経営の効率化を推進し、収益改善に努めます。

こうした状況を踏まえ、2003年4月28日に発表した今期（2004年3月期）の業績見通しは、売上高が前期比5.3%増の830億円、経常利益が前期比8.7%増の28億円、当期純利益が前期比11.7%増の15億9千万円です。一株当たりの配当金は中間・期末とも8千5百円（年間1万7千円）を予定しています。

# 財務諸表

## ■貸借対照表

単位：千円

科目	2002.3	2003.3	比較増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	30,388,908	32,063,060	1,674,152
現金及び預金	268,989	483,141	214,152
受取手形	1,146,089	1,202,165	56,076
売掛金	19,217,505	18,687,580	△529,924
商品	9,640,453	11,004,478	1,364,024
前渡金	24,040	297	△23,743
前払費用	59,306	41,750	△17,555
繰延税金資産	69,253	208,333	139,080
未収消費税等	—	445,782	445,782
その他	20,883	17,572	△3,311
貸倒引当金	△57,615	△28,042	29,573
固定資産	3,065,820	2,978,341	△87,479
有形固定資産	285,755	326,906	41,151
建物	142,011	128,403	△13,608
構築物	400	357	△43
工具、器具及び備品	143,342	198,146	54,803
無形固定資産	851,040	568,366	△282,673
ソフトウェア	845,259	562,585	△282,673
電話加入権	5,781	5,781	—
投資その他の資産	1,929,025	2,083,067	154,042
従業員長期貸付金	4,130	4,005	△125
破産債権等	4,965	—	△4,965
長期差入保証金	1,152,260	1,155,672	3,412
長期前払費用	4,438	20,419	15,980
繰延税金資産	665,962	844,399	178,436
その他	103,765	60,422	△43,343
貸倒引当金	△6,498	△1,851	4,647
資産合計	33,454,729	35,041,402	1,586,672

(注) 1 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。  
2 財務諸表等規制の改正により、当期における貸借対照表の資本の部については、改正後の財務諸表等規制により作成しています。

## ■資産

資産合計は、前期比15億8千6百万円増の350億4千1百万円です。

流動資産は、債権流動化による売掛金の減少、売上増加による商品の増加等により、前期比16億7千4百万円増の320億6千3百万円です。

固定資産は、無形固定資産のソフトウェアの償却等による減少、投資その他の資産の繰延税金資産の増加等により、前期比8千7百万円減の29億7千8百万円です。

単位：千円

科目	2002.3	2003.3	比較増減
<b>負債の部</b>			
流動負債	19,552,283	12,833,124	△6,719,158
買掛金	4,753,649	5,948,649	1,195,000
短期借入金	9,680,124	4,500,000	△5,180,124
一年以内返済予定長期借入金	3,000,000	—	△3,000,000
未払金	1,170,536	973,596	△196,940
未払費用	2,382	2,114	△267
未払法人税等	530,852	1,008,008	477,156
前受金	65,653	80,624	14,971
預り金	77,168	64,854	△12,313
賞与引当金	159,848	255,277	95,429
その他	112,068	—	△112,068
固定負債	7,322,817	10,604,317	3,281,500
長期借入金	5,000,000	8,000,000	3,000,000
退職給付引当金	2,077,619	2,424,932	347,312
役員退職慰労引当金	98,798	50,385	△48,413
その他	146,399	129,000	△17,399
負債合計	26,875,100	23,437,441	△3,437,658
<b>資本の部</b>			
資本金	800,000	—	—
利益準備金	200,000	—	—
その他の剰余金			
任意積立金	—	—	—
別途積立金	3,500,000	—	—
当期末処分利益	2,079,628	—	—
その他の剰余金合計	5,579,628	—	—
資本合計	6,579,628	—	—
資本金	—	2,495,750	—
資本剰余金			
資本準備金	—	2,054,850	—
資本剰余金合計	—	2,054,850	—
利益剰余金			
利益準備金	—	200,000	—
任意積立金	—	—	—
別途積立金	—	5,000,000	—
当期末処分利益	—	1,853,360	—
利益剰余金合計	—	7,053,360	—
資本合計	—	11,603,960	—
負債及び資本合計	33,454,729	35,041,402	1,586,672

## ■負債・資本

負債合計は、前期比34億3千7百万円減の234億3千7百万円です。

流動負債は、仕入増に伴う買掛金の増加、公募増資資金による短期借入金の返済等により、前期比67億1千9百万円減の128億3千3百万円です。

固定負債は、長期借入金の増加等により、前期比32億8千1百万円増の106億4百万円です。

資本合計は、公募増資による資本金の増加等により、前期比50億2千4百万円増の116億3百万円です。

## ■損益計算書

単位：千円

科目	2002.3	2003.3	比較増減
売上高	74,629,410	78,811,874	4,182,463
売上原価	64,995,443	68,423,269	3,427,825
商品期首たな卸高	16,268,504	9,640,453	
当期商品仕入高	58,367,393	69,787,293	
合計	74,635,897	79,427,747	
商品期末たな卸高	9,640,453	11,004,478	
売上総利益	9,633,967	10,388,604	754,637
販売費及び一般管理費	6,986,270	7,390,528	404,257
役員報酬	154,656	108,056	
従業員給料手当	2,551,450	2,591,563	
従業員賞与	322,839	250,473	
賞与引当金繰入額	159,848	255,277	
退職給付引当金繰入額	409,390	562,316	
法定福利費	336,851	369,443	
旅費及び交通費	423,736	446,634	
減価償却費	442,036	493,100	
電算機経費	582,105	637,605	
地代家賃	409,832	446,504	
研究開発費	61,667	34,881	
その他	1,131,855	1,194,670	
営業利益	2,647,696	2,998,076	350,379
営業外収益	92,567	27,800	△64,766
受取利息	4,571	1,025	
セミナー開催収入	2,323	6,078	
受取保険金	—	3,080	
受取保険配当金	9,704	11,627	
保険事務手数料	—	2,910	
為替差益	67,081	—	
その他	8,886	3,078	
営業外費用	216,691	451,106	234,415
支払利息	202,803	162,175	
債権譲渡損	—	69,626	
新株発行費	—	26,774	
為替差損	—	187,367	
その他	13,887	5,163	
経常利益	2,523,572	2,574,770	51,197
特別利益	67,721	9,011	△58,710
前期損益修正益	—	6,168	
貸倒引当金戻入益	67,721	1,468	
ゴルフ会員権売却益	—	1,374	
特別損失	36,572	4,241	△32,330
固定資産除却損	10,665	1,733	
ゴルフ会員権評価損	24,286	2,284	
貸倒引当金繰入額	1,621	224	
税引前当期純利益	2,554,722	2,579,540	24,817
法人税、住民税及び事業税	919,181	1,473,325	
法人税等調整額	188,316	△317,516	
当期純利益	1,447,223	1,423,731	△23,492
前期繰越利益	632,405	429,628	△202,776
当期未処分利益	2,079,628	1,853,360	△226,268

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

## ■売上高・利益

売上高は、前期比5.6%増の788億1千1百万円です。

営業利益は、賞与引当金繰入額や退職給付引当金繰入額等の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、前期比13.2%増の29億9千8百万円です。

経常利益は、債権譲渡損、新株発行費、為替差損により営業外費用が増加したものの、前期比2.0%増の25億7千4百万円です。

当期純利益は、貸倒引当金戻入益の減少、固定資産除却損とゴルフ会員権評価損の減少等により、前期比1.6%減の14億2千3百万円です。

## ■利益処分

単位：千円

科目	2002.3	2003.3	比較増減
当期末処分利益	2,079,628	1,853,360	△226,268
利益処分類			
配当金	150,000	299,000	149,000
取締役賞与金	—	15,000	15,000
任意積立金			
別途積立金	1,500,000	1,000,000	△500,000
次期繰越利益	429,628	539,360	109,731

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

## ■配当金

配当金総額は、2億9千9百万円、一株当たり配当金は、1万3千円です。

## ■キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位：千円

科目	2002.3	2003.3	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,886,215	2,086,321	△10,799,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	△430,583	△274,938	155,645
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,519,875	△1,606,299	12,913,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	76,195	9,068	△67,127
現金及び現金同等物の増減額	△1,988,047	214,152	2,202,199
現金及び現金同等物の期首残高	2,257,037	268,989	△1,988,047
現金及び現金同等物の期末残高	268,989	483,141	214,152

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

## ■キャッシュ・フロー

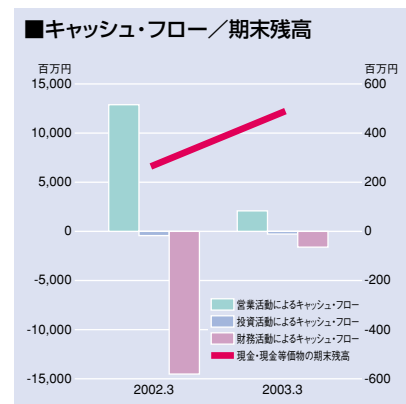
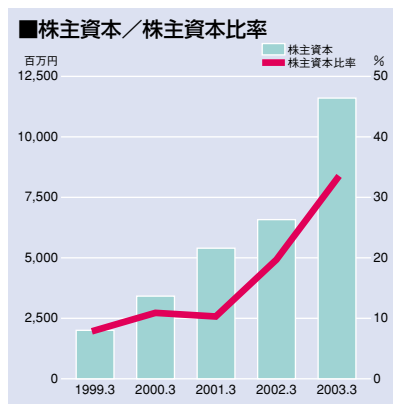
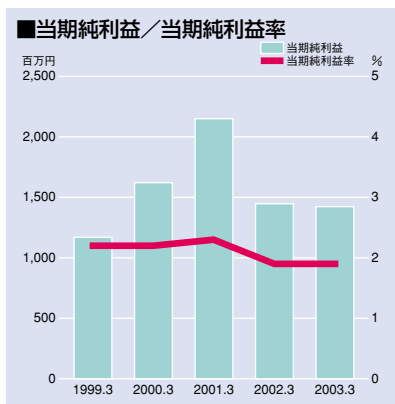
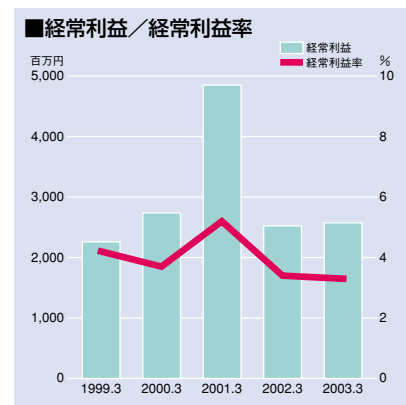
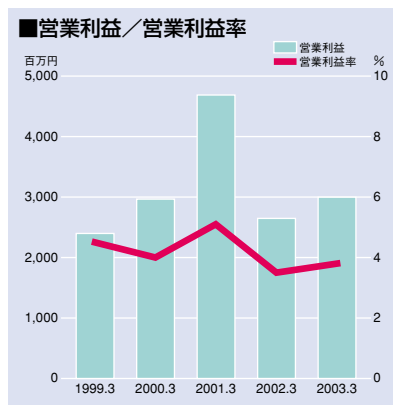
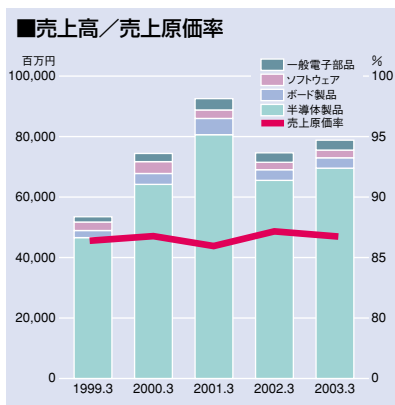
営業活動によるキャッシュ・フローは、20億8千6百万円のプラスです。主として、税引前当期純利益が25億7千9百万円と堅調であったこと等の要因です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億7千4百万円のマイナスです。主として、社内システムのソフトウェア等の取得が要因です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、16億6百万円のマイナスです。主として、新株式発行による増資、および短期借入金の返済等が要因です。

以上の結果、当期末における現金及び現金同等物は、2億1千4百万円増の4億8千3百万円です。

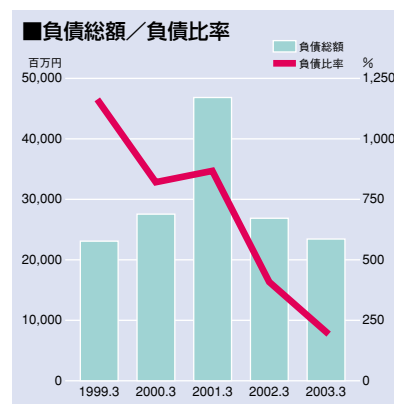
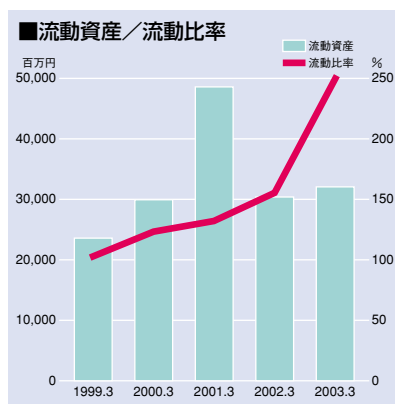
# 財務データ



(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3
売上高	53,491	74,421	92,546	74,629	78,811
売上原価率 (%)	86.5	86.8	86.1	87.1	86.8
営業利益	2,398	2,966	4,687	2,647	2,998
営業利益率 (%)	4.5	4.0	5.1	3.5	3.8
経常利益	2,260	2,738	4,852	2,523	2,574
経常利益率 (%)	4.2	3.7	5.2	3.4	3.3
当期純利益	1,170	1,621	2,150	1,447	1,423
当期純利益率 (%)	2.2	2.2	2.3	1.9	1.8
株主資本	2,004	3,417	5,398	6,579	11,603
株主資本比率 (%)	8.0	10.9	10.3	19.7	33.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	-	△ 1,549	△ 11,147	12,886	2,086
投資活動によるキャッシュ・フロー	-	△ 318	△ 381	△ 430	△ 274
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	1,980	13,320	△ 14,519	△ 1,606
現金および現金等価物の期末残高	-	439	2,257	268	483

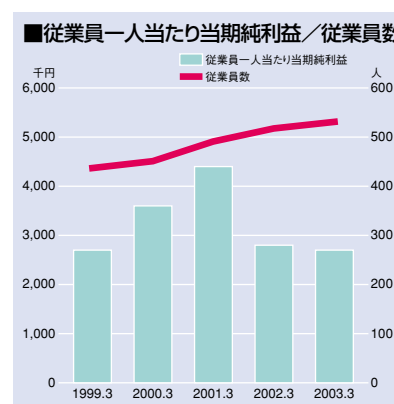
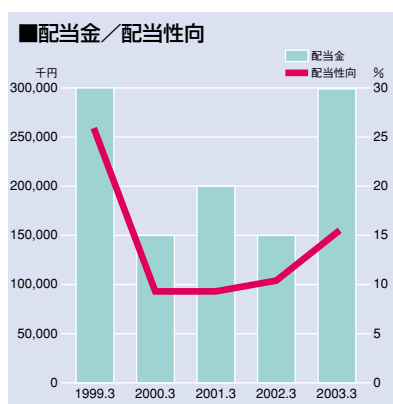
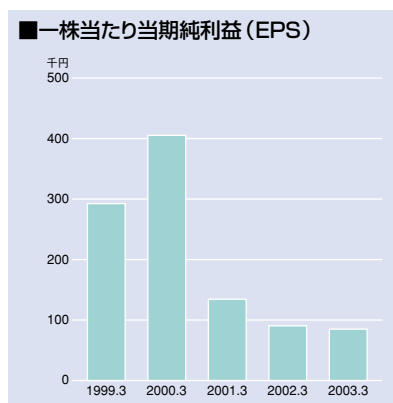
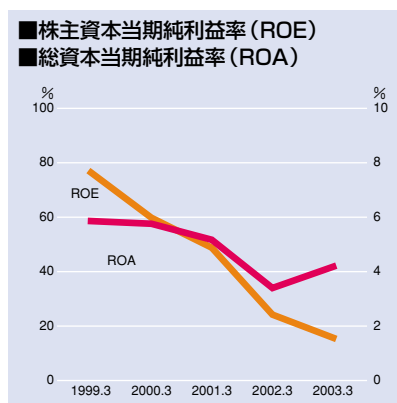




(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3
総資産	25,092	31,472	52,237	33,454	35,041
総資産回転率(回)	2.7	2.6	2.2	1.7	2.3
棚卸資産	5,774	9,385	16,268	9,640	11,004
棚卸資産回転率(回)	11.1	9.8	7.2	5.8	7.6
債権回転率(回)	3.9	4.0	3.8	3.0	3.9
仕入債務回転率(回)	9.7	11.1	10.3	9.6	12.8
流動資産	23,588	29,931	48,593	30,388	32,063
流動比率(%)	102.9	123.3	132.1	155.4	249.8
負債総額	23,088	28,055	46,839	26,875	23,437
負債比率(%)	1,152.0	820.9	867.6	408.5	202.0

# 財務データ



(単位：千円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3
株主資本当期純利益率 (ROE) (%)	76.4	59.8	48.8	24.2	15.7
総資本当期純利益率 (ROA) (%)	5.9	5.7	5.1	3.4	4.2
一株当たり当期純利益 (EPS)	292	405	134	90	84
一株当たり株主資本	501	854	337	411	503
一株当たり配当金 (円)	75,000	37,500	12,500	9,375	13,000
発行済株式数 (株)	4,000	4,000	16,000	16,000	23,000
配当金	300,000	150,000	200,000	150,000	299,000
配当性向 (%)	25.6	9.3	9.3	10.4	15.3
従業員一人当たり当期純利益	2,677	3,595	4,380	2,821	2,681
従業員数 (人)	437	451	491	513	531

## 会社概要

商号 東京エレクトロン デバイス株式会社  
TOKYO ELECTRON DEVICE LIMITED

設立 1986年3月3日

代表者 取締役社長 砂川 俊昭

売上高 788億円(2003年3月期)

従業員数 542名(2003年7月1日現在)

本社 〒224-0045 神奈川県横浜市都筑区東方町1番地  
TEL: 045-474-7000 (代表)  
FAX: 045-474-7092  
http://www.teldevice.co.jp/



本社

### ■取締役および監査役(2003年6月18日現在)

代表取締役社長	砂川 俊昭	取締役	佐藤 潔
取締役	浅倉 巖	取締役	原 護
取締役	遠山 憲一	常勤監査役	木村 嘉男
取締役	小谷 浩	常勤監査役	矢崎 一洋
取締役	佐藤 均	監査役	糸山 武敏
取締役	東 哲郎	監査役	原田 芳輝

### ■拠点網

北関東支社	名古屋営業所
大阪支社	福岡営業所
仙台営業所	東京オフィス
水戸営業所	横浜オフィス
立川営業所	
横浜営業所	仙台設計開発センター
松本営業所	横浜設計開発センター

## 株式情報

### ■株式の状況(2003年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 .....64,000株

発行済株式の総数 .....23,000株

資本金 .....2,495,750,000円

株主数 .....2,839名

上場証券取引所 .....東京証券取引所 市場第二部

証券コード .....2760

名義書換代理人 .....中央三井信託銀行株式会社

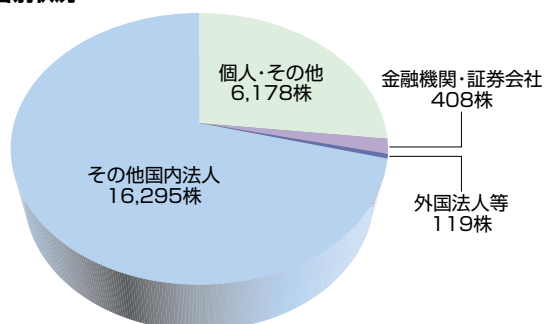
公告の方法 .....日本経済新聞

(決算公告はhttp://www.teldevice.co.jp/kessan.htmlで提供)

### ■大株主の状況(上位5名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
東京エレクトロン株式会社	16,000	69.56
東京エレクトロン デバイス社員持株会	414	1.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	217	0.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	81	0.35
北原 積	50	0.21

### ■所有者別状況



### ■IRカレンダー

4月 決算発表および説明会

6月 定時株主総会

7月 1Q決算発表

10月 中間決算発表および説明会

1月 3Q決算発表

### ■お問い合わせ先

総務部 TEL: 045-474-7024  
FAX: 045-474-7092  
E-mail: ir-info@teldevice.co.jp

## Webサイト情報



TEDのホームページでは、会社案内、製品・技術情報、IR情報など、豊富なインフォメーションを発信しています。



東京エレクトロン デバイス株式会社

本社：〒224-0045・神奈川県横浜市都筑区東方町1番地  
TEL:045-474-7000（大代表） FAX:045-474-7092  
<http://www.teldevice.co.jp/>